



薬草園だより

Vol.39 May.2



今年こそは！と薬草園で手塩にかけ育てているオタネニンジンです。今はこんなに大きくなりました。日光に弱い、雑菌に弱いなど育て方が難しく、わざわざ農家の方を訪ねて育て方を学びました。収穫までに4年以上はかかるといわれており、これからの成長が楽しみです。

オタネニンジンのあれこれ

生薬名：人参

薬用部位：根

主成分：トリテルペンサポニン

花言葉
博愛・告白

高麗人参、朝鮮人参など呼び名がいくつかある昔から馴染み深い生薬のひとつですよ。主な効能は滋養強壮で補中益気湯や十全大補湯などの処方で用いられます。野菜の人参がセリ科なのに対しこちらはウコギ科と同じ人参と名前が付いていても全く別の仲間と知ったときはびっくりしました。語源は各地大名が八代将軍徳川吉宗より種を頂いたことから御種→オタネとなったようです。

今年も作りましたつくし料理！



生憎の天気でしたが、負けずにみんなで採取しきんぴらや炒め物に調理しました。今年にはゴボウやノビルなども一緒に収穫し歴代で一番豪華なラインナップになりました！



類縁のシナヒキガエルの毒腺の分泌物を集めたものを蟾酥(センソ)といい強心作用がある。

ふあ～暖かくなってきたいうてもまだ眠いわあ…。せやけど薬草園も花盛りやしそろそろ起きるかなあ…。



生薬名を蒲公英(ホコウエイ)といい全草を用いる。効能に解熱、健胃、利尿作用がある。